

**古川農業試験場の「高温耐性検定施設」で
初めての収穫を行います
～高温に強い新しい品種開発～**

近年の夏の高温により、米の粒が白く濁る「白未熟粒^{しろみじゅりゅう}」が発生しており、米の品質低下が課題となっています。このため、宮城県古川農業試験場では、令和8年から初めての本格的な高温耐性の検定をスタートしました。

今年度から運用を開始した本施設では、イネは順調に生育し、収穫の時期を迎えました。そこで、施設内の生育状況や検定に向けた刈取りの様子をご紹介します。

報道関係の皆様におかれましては、ぜひ取材してくださるようお願いいたします。

- 1 日 時 令和8年9月18日（金）
午前10時30分から11時まで
- 2 場 所 古川農業試験場内 高温耐性検定施設
（大崎市古川大崎字富国88）
- 3 内 容
（1）施設内の生育状況の紹介
（2）高温登熟に優れる東北247号の収穫 など



高温耐性検定施設（外観）



高温耐性検定施設（内部）



白未熟粒（左）と正常粒（右）

※試験の都合上、一部の品種・系統は収穫済みとなっています。

※当日は、施設までの案内をいたしますので、古川農業試験場の玄関前道路付近にお立ち寄りください。